



広報

永平寺

えいへいじ

永平寺町

EIHEIJI

平成26年度

予算特集号





■永平寺参ろ一ど^{まい}

平成14年に廃線に至った旧永平寺線跡地の有効活用を目的に、地権者及び沿線地域の方々の協力を得て、永平寺線跡地利用活性化協議会と共に構想を練って整備した遊歩道です。大本山永平寺につながる道のりを緑豊かな山並みや田園風景を楽しみながら、また禅の心に触れながらウォーキングを満喫することができます。

名称は全国公募を行い、702件の中から「永平寺参ろ一ど^{まい}」という素敵な名前に決まりました。

事業名：永平寺線跡地遊歩道整備事業

事業主体：永平寺町

全体延長：約6km

平均幅員：W= 4.0 m

CONTENTS

平成26年度予算について.....	3
平成26年度永平寺町の予算.....	4
一般会計歳入とは？／一般会計歳出とは？	
えい坊くんちの家計簿.....	8
町長とすまいるミーティング.....	9
河合町長に聞きました.....	10
えい坊くんが予算事業について町長に質問	
平成26年度に取り組む主な事業.....	14
編集後記.....	19



平成26年度予算は、私が町長に就任後、初めて編成する予算であります。

町民の皆さまが住みやすさを実感できる政策に積極的に取組み人口の減らない町、活力ある「つよい永平寺町」を目指していきます。

永平寺町長 河合 永充

6月に発表された北陸経済の概況によると、消費税率の引上げに伴う影響がみられるものの、基調としては緩やかに回復しつつあり、先行きについても各種政策の効果や海外需要の増加などを背景に、景気の回復基調が続くことが期待されています。

本町においては、合併以降取り組んできた行財政改革により財政健全化が進んではいますが、財源確保の面で、景気回復の遅れから町税等の自主財源が伸び悩み、国県支出金や地方交付税の財源に依存する状態が依然として続いています。

当初予算

今年度は、2月に町長選挙が実施されたことから、当初予算では、人件費や社会保障費などの義務的経費、耐震・防災対策等の緊急性の高い建設事業、無料のがん検診、予防接種の助成などの健康づくりの推進、中学生終了までの医療費無料化、定住促進への支援など、継続事業を中心とした骨格

的な予算編成を行いました。

6月補正予算

第2次行政改革大綱と町総合振興計画を踏まえて、基本計画に掲げられた重点施策を着実に推進するための政策的な経費や当初予算で計上されなかった経費を追加し、「今」必要なサービスの充実と、「将来」の活力あるまちの推進に重点を置いた予算編成を行いました。

予算編成のポイント

住民が安心して暮らせるまちづくりをめざし、地域防災の重要拠点である本庁・永平寺支所の耐震化、消防の一元化を図るための新消防庁舎建設、消防救急無線のデジタル化及び高機能指令センターの一体化整備など、地域防災体制の強化に重点配分しました。

にぎわいのある活力豊かなまちづくりをめざし、地域資源の積極的な活用を行い、町内への誘客と活性化を図る「ふるさと創造プロジェクト事業」、地域の特産や資

源を活用して観光交流の拠点づくりを行う「地域振興施設整備事業」（道の駅）、永平寺ブランドの確立と情報発信を行うため「永平寺町ブランド戦略推進委員会」への補助金、新幹線金沢開業、舞鶴若狭自動車道の全線開通を見据え、永平寺の魅力を全国に広く発信し、門前街のまち歩きが楽しめる環境整備を進めるための「観光まちなみ魅力アップ事業」など、観光の振興に重点を置きました。

この予算特集号は、町の財政状況や予算がどのように使われているかを分かり易く表現することを心がけ作成しました。町の財政状況や事業を分かり易くお知らせすることは、町民と行政が協働したまちづくりを進めていくために大切なことだと考えております。町民の皆さんが、町の財政や事業を身近に感じ、幅広い世代の方が町政に参画していただくきっかけになれば幸いです。

平成26年度

永平寺町の予算

6月補正予算を加えた、永平寺町の平成26年度予算額は、144億5,136万円（前年度比 +6.6%）で、そのうち一般会計予算額は89億8,321万円（前年度比 +6.6%）です。

会計別の予算額は以下のとおりとなります。



1. 一般会計

89億8,321万円

（前年度比 +6.6%）

福祉・医療、教育、道路整備などの基礎的な行政サービスを行っていくための会計です。行政の主な事業はこの予算によって賄われています。

2. 特別会計

47億5,238万円

（前年度比 +3.8%）

特定の事業を特定の収入で賄う会計のことで、収支を明確にするために、一般会計から独立したものとなっています。永平寺町には5つの特別会計があります。

会計名称	予算額	前年度比
国民健康保険事業特別会計	18億4,676万円	+3.6%
後期高齢者医療特別会計	1億9,921万円	+6.1%
介護保険特別会計	17億7,617万円	+4.7%
下水道事業特別会計	6億9,547万円	+0.1%
農業集落排水事業特別会計	2億3,477万円	+8.3%
合 計	47億5,238万円	+3.8%

3. 公営企業会計

7億1,577万円

（前年度比 +29.2%）

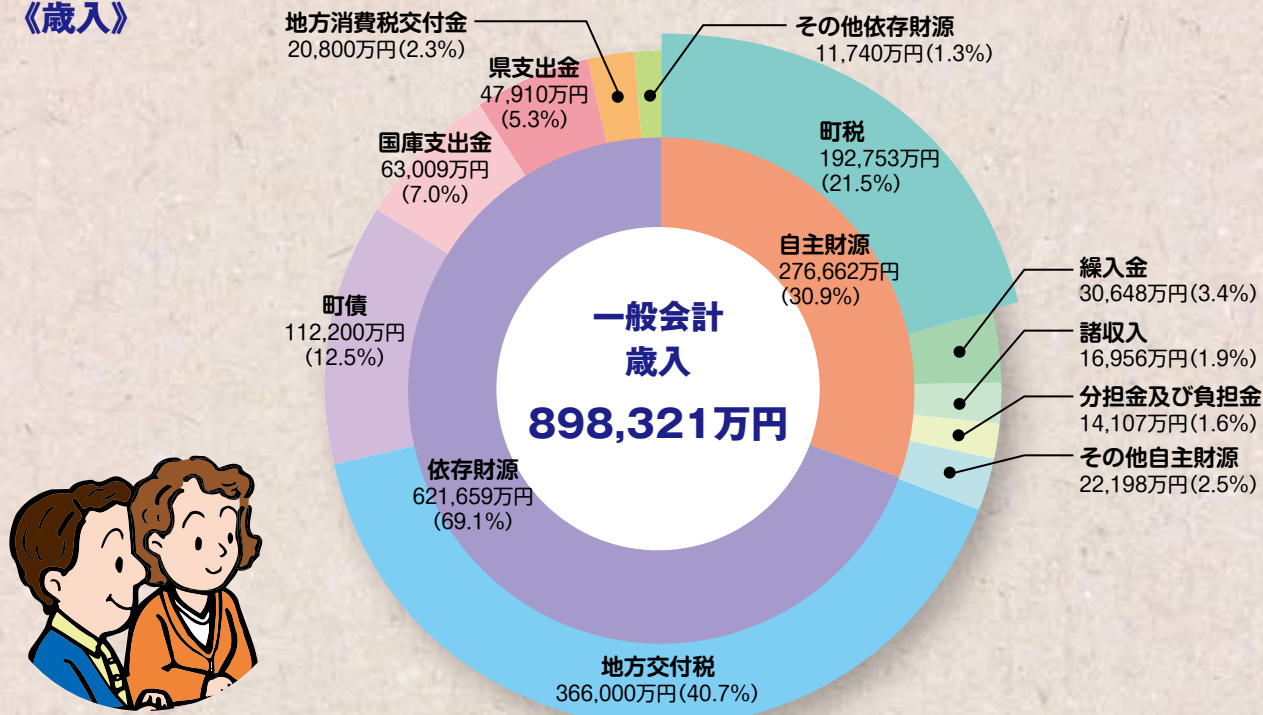
民間企業と同様に、事業による収益によって運営している会計です。永平寺町では上水道事業がこれにあたります。

会計名称	予算額	前年度比
上水道事業会計	7億1,577万円	+29.2%

4. 一般会計歳入とは？

永平寺町における収入は、大きく分けて国・県からの助成などに頼らない独自の調達可能な「自主財源」と、様々な形で助成、交付される補助金や交付金などの「依存財源」とに分かれます。

《歳入》



おおまかな収入の種類はこの円グラフのとおりとなります。この収入の中でも、使い道が限定されない、自由に使えるお金を「一般財源」と言い、使い道が決められているお金を「特定財源」と言います。また、施設の整備等のために借り入れる町債があります。

【一般財源】 自由に使い道が決められるお金

63億462万円

- 町税 19億2,753万円
 - 町民税…8億9,898万円
 - 個人 8億3,282万円 (給与収入などに応じて納めていただく税金)
 - 法人 6,616万円 (町内に事業所がある法人に納めていただく税金)
 - 固定資産税…8億7,356万円 (土地や建物などを持っている方に納めていただく税金)
 - 軽自動車税…3,862万円 (軽自動車を持っている方に納めていただく税金)
 - 町たばこ税…1億1,160万円 (町内でタバコを買った方に納めていただく税金)
 - 入湯税…477万円 (町内の温泉浴場を利用した方に納めていただく税金)
- 地方交付税 36億6,000万円 (地域ごとの税収の差などを調整するため、国から交付されるお金)
- 地方譲与税 7,200万円 (いったん国税として徴収されてから、町に配分されるお金)
- 県税交付金 2億4,140万円 (いったん県税として徴収されてから、町に配分されるお金)
- 地方特例交付金 900万円 (国の施策により地方税が減収となった分などを補うために国から交付されるお金)
- 交通安全対策特別交付金 300万円 (道交法違反者から徴収された罰則金のうち町に交付されるお金)
- その他 3億9,169万円 (前年度から繰越したお金など)



【特定財源】 使い道があらかじめ決まっているお金

15億5,659万円

- 国・県支出金 11億919万円 (特定の事業に使うことを目的として国・県から交付されるお金)
- 分担金・負担金 1億4,107万円 (行政サービスを受けた方に負担いただいたお金、保育料など)
- 使用料・手数料 7,992万円 (行政サービスを受けた方に負担いただいたお金、町営施設使用料など)
- 諸収入 1億6,956万円 (学校職員の給食代や資源ごみの売却によるお金など)
- その他 5,685万円 (特定の事業に使うことを目的として基金を取り崩したお金など)

【町債】 施設整備等のために借り入れるお金

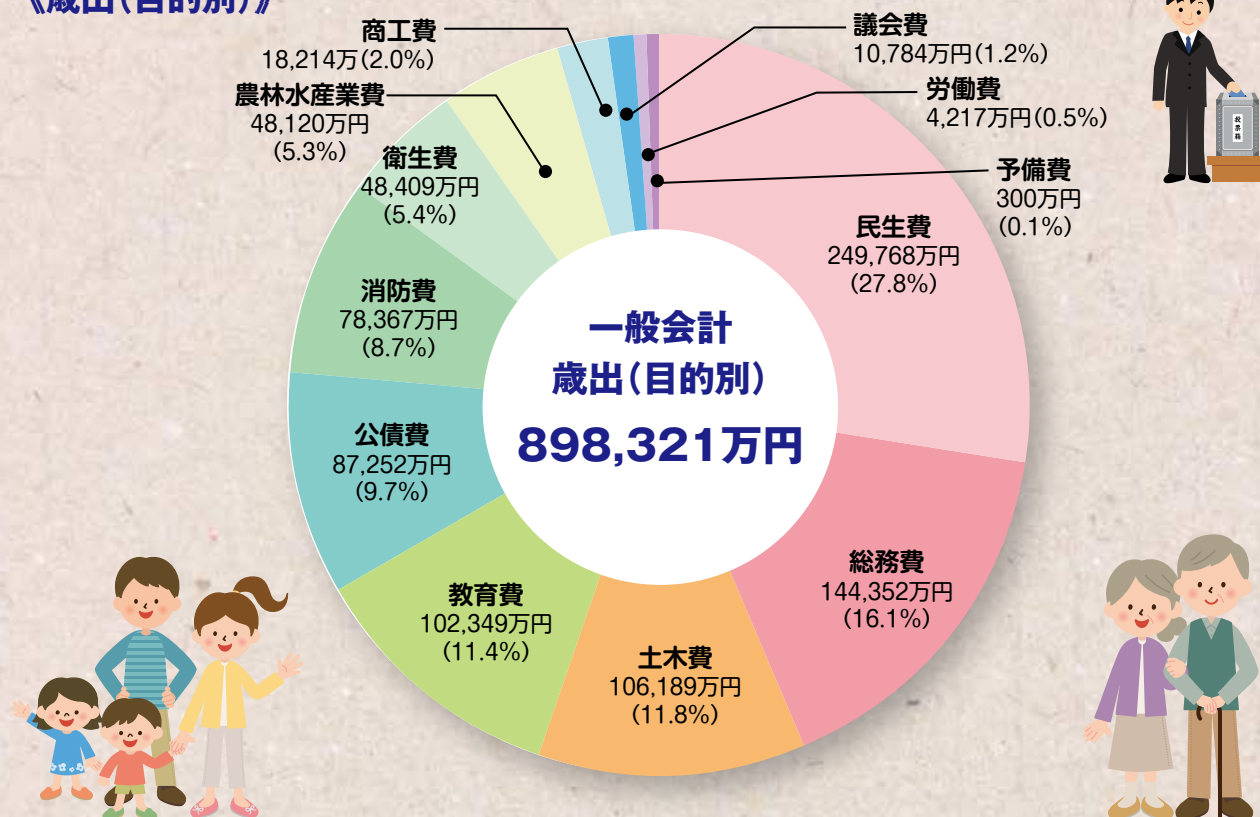
11億2,200万円

- 町債 7億6,200万円 (道路や公園、町民利用施設などの整備のために借り入れるお金)
- 臨時財政対策債 3億6,000万円 (国が地方交付税として配るお金で足りない分を、町が代わりに借り入れるお金)

5. 一般会計歳出とは？

皆様からいただいた税金等をもとにして、子育て支援や福祉の充実など、様々な分野にお金が使われます。使い道ごとに表したものが以下のグラフになります。

《歳出(目的別)》



総務費、議会費

行政の運営などを目的としたお金の使い道です。

民生費



福祉、保健、子育てを目的としたお金の使い道です。

土木費



道路、住宅、計画的な町づくりを目的としたお金の使い道です。

教育費



子育て、生涯学習を含めた教育を目的としたお金の使い道です。

消防費



安全な町づくりを目的としたお金の使い道です。

衛生費



ごみの処理や減量などを目的としたお金の使い道です。

農林水産業費



田んぼや畑、山林などの有効利用を目的としたお金の使い道です。

商工費

町の魅力づくりや経済発展を目的としたお金の使い道です。

労働費

人材の有効活用を目的としたお金の使い道です。

公債費

町の発展を目的としたお金の使い道です。

予備費

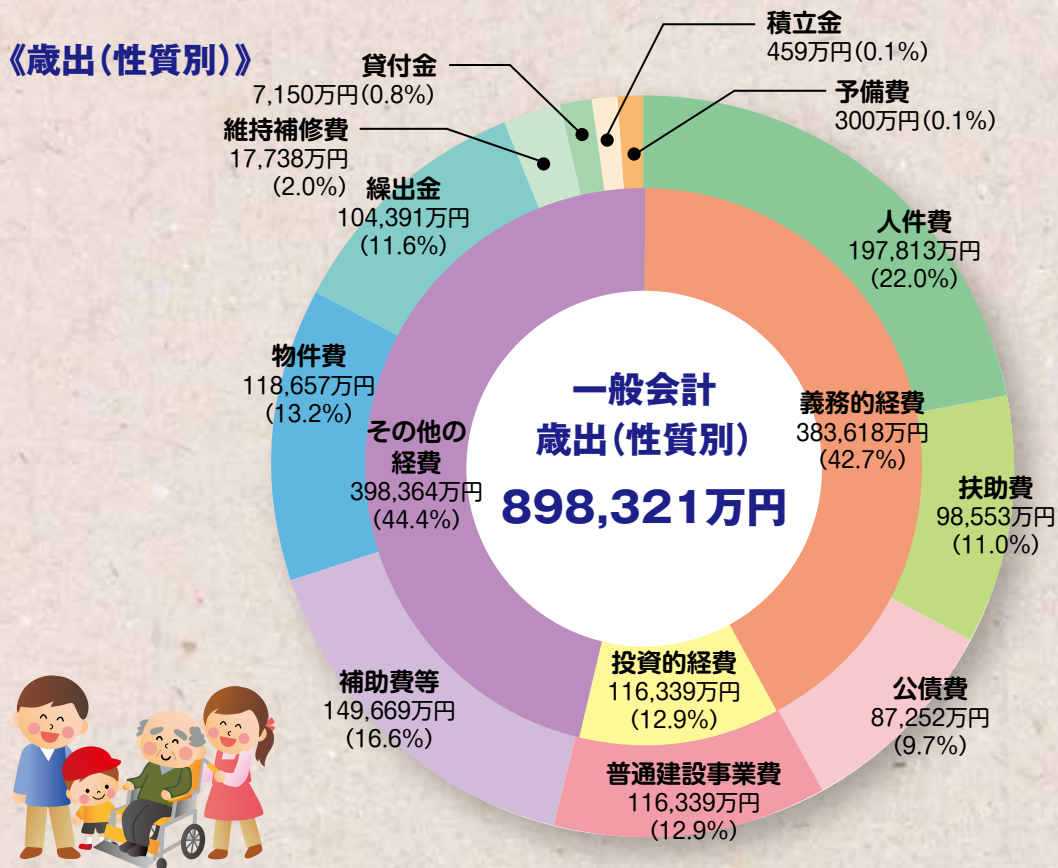


もしものときのお金の使い道です。



次に、使われるお金を使い道ではなく内容で示すようになります。

《歳出(性質別)》



人件費



職員の給料や退職金など、人にまつわる費用

公債費



過去の借入金の返済費用

補助費等

役場に関係する団体への負担金などの費用

緑出金

特別会計へ出す費用

その他

企業への貸付や、将来を見越しての積立金などの費用

扶助費



児童手当や生活保護、医療費などの援助費用

普通建設事業費



道路や施設の新たな建設費用

物件費



消耗品や電気料、町民の皆様にお知らせする広報作成などの費用

維持補修費



既にある道路などを直す費用

この中でも人件費、扶助費、公債費を合計したものを「義務的経費」と呼び、毎年度支出が必要となります。対して普通建設事業費は「投資的経費」と呼び、主に町の資本形成のための支出となります。



えい坊くんちの家計簿



家計簿でみる町の予算

町の予算をより身近に感じていただくために、一般会計予算を家計簿の形にして表してみました。なお金額の単位は「千万円」を「万円」に置き換えています。

収 入

給 料	702万円
基本給(町税)	193万円
諸手当 (普通交付税、国庫支出金など)	509万円
パート収入保険料 (分担金、使用料など)	22万円
雑収入	18万円
金融機関からの借入(町債)	112万円
貯金の取崩(繰入金)	31万円
前年度の残金(繰越金)	13万円

合 計 898 万円

支 出

食費(人件費)	198万円
医療費(扶助費)	99万円
公共料金、 生活用品など(物件費)	119万円
保険料 交際費など(補助費など)	150万円
ローンの返済(公債費)	87万円
家の改築、修繕など (普通建設事業費など)	134万円
子どもへの仕送り 友人への援助(繰出金、貸付金)	111万円
貯金	1万円

合計 898万円

えい坊くんちの収入は、給料が主なものですが、近年の経済情勢を反映して、基本給(町税)のアップは厳しいものとなっています。一方、会社(国)の方針で家計(地方財政)の財源は昨年同様に確保されていますが、政策の見直し等により、諸手当(地方交付税)は昨年度より若干少なくなっています。また、年間支出898万円を賄うため、貯金の取り崩しや金融機関からの借入も行っています。

支出の主なものは、ブランド戦略推進委員会事業、消防庁舎建設事業、公民館嘱託主事設置事業といった未来につながる予算を確保しながら、あずけて、安心子育て充実事業の拡充、認知症検診事業や松岡河川公園トイレ新築事業など、生活の質が向上するように工夫しています。

景気低迷が続く中、基本給が伸び悩むことが予想されるほか、今後の会社(国)の方針で、諸手当が減っていくことも考えられるため、給料が増加することは見込めません。そのため、さらに支出を工夫し、経費を節約し、家族にやさしい、より質の高い生活を目指していきたいと考えています。

町民の皆様と**直接**語り合いたい。

町長とすまいる ミーティング

すまいる ミーティング
すまー
で お会いし
ましょう!



一人でも多くの町民の皆様と語り合って、
皆様と共に町づくりをしていきたいと考えています。
一つでも多くの意見をお聞きたいと思っています。少人数でも
かまいません。一緒に語り合いましょう!

内容や希望日時についての問合せはこちら

総務課 61-3941

もっと もっと facebookページ 開設しました!

町民とのコミュニケーションを深め、
より良いサービスにつなげます

ホームページ
見たいな!!

いいね!
押してね!

永平寺町役場
facebook

お問合せ

永平寺町役場 情報政策室
情報発信プロジェクトチーム

TEL (0776) 61-3942

永平寺町役場 facebook

検索

永平寺町

検索

度に取り組む主な事業

ブランド戦略推進委員会事業

えい坊くん ブランド戦略推進委員会事業とはどのような事業ですか？

町長 永平寺町のイメージを確立させ、「地域ブランド」として町内外に発信し、観光誘客やより質の高い物産品やサービスを提供することにつなげていきます。また、町の魅力を再発見し、町民とも町の魅力やブランドイメージ等について共有し、「住民自身が自慢できるまち」となるよう、統一的なイメージアップを図っていく事業です。

えい坊くん 「地域ブランド」の確立と発信を積極的に推進していくのですね？

町長 はい、そのために商工観光課内にブランド戦略室を設置しました。施策の推進にあたっては、役場内においても、課の垣根を越えて横断的に取り組んでいきます。

また、新たに永平寺町ブランド戦略推進委員会を創設します。今後は委員会の中で、ブランド戦略の基本的な方向性の検討やブランドイメージの共有化と情報発信を積極的に行って、各種施策や住民活動においてもブランドイメージを十分に取り入れたものとなるような働きかけを行っていききたいと考えています。

永平寺町PRテレビCM事業

えい坊くん 永平寺町PRテレビCM事業のねらいは何ですか？

町長 永平寺町は「子育て支援」や「教育力の向上」といった分野に力を入れています。他にも「観光面」や「禅の心」など、他市町に負けない特色をPRして、永平寺町の良さを知ってもらおうと考えています。

えい坊くん なるほど

町長 永平寺町の特徴について、みなさんが見ているテレビを通じて、町内外にわかりや



河合町長に
聞きました

平成26年度

すくアピールして、町のイメージアップと定住促進を図ってこうと考えています。

ふるさと創造プロジェクト事業

えい坊くん ふるさと創造プロジェクト事業ってどのような事業ですか？

町長 地域資源の積極的な活用や発展を通して、オンリーワン、ナンバーワンのふるさとをつくり、全国発信して、観光誘客、地域の活性化を図る事業です。

えい坊くん 永平寺町では、どのようなことをするのですか？

町長 永平寺町松岡地区には、全国に誇れる「食」や「歴史・文化」、「生業」などの『地域の光』があります。これらを次世代に繋ぐために『地域活動』の場が融合した、活きた地域の魅力が息づくにぎわいの拠



点づくりを行い、町の観光地である『大本山永平寺』と連携して観光誘客を図っていききたいと考えています。

えい坊くん 活きた地域の魅力を発信するためにどのようなことを行うのですか？

町長 まずは、旧松岡織物会館の意匠を継承した、観光交流や地域活動の拠点となる施設の整備を行いたいと思います。

そこには、日常的な憩いのほか、拠点施設と一体となって地域活動やイベントを開催する多目的広場の整備も必要になってくると思います。

さらに、旧松岡藩ゆかりの歴史や酒造りなどの伝統が息づく周辺界隈を巡る回遊の魅力づくりを行います。

それら『地域の光』について、効果的な情報発信を行い、観光誘客、地域の活性化を図っていききたいと考えています。

観光まちなみ

魅力アップ事業

えい坊くん 観光まちなみ魅力アップ事業とはどのような事業ですか？

町長 新幹線金沢駅開業、舞鶴若狭自動車道の全線開通を見据えて、「永平寺の魅力」を全国に発信できるような環境整備を行う事業です。

えい坊くん なるほど

町長 具体的には、永平寺門前街のまち歩きが楽しめるように散策環境を整えていきます。

観光地の魅力アップ、観光地づくりのスピードアップを図るため、国の社会資本整備交付金を活用し、事業を推進していきます。

えい坊くん 今年の事業内容はどのようなものですか？

町長 今年度は、まず平成25年度に「永平寺門前まちづくり推進会議」にて策定した「観光まちなみ魅力アップ事業整備構想」の一部見直しを行い、施工工事の詳細設計の委託を行う予定です。



「おもてなしの心」でお迎えし、
大会の成功と
心に残る永平寺町ならではの
魅力あふれる大会を
目指していきます

第73回国民体育大会開催事業

えい坊くん 福井国体では、どのような競技が永平寺町で開催されるのですか？

町長 平成30年に「福井しあわせ元気国体」が福井県において開催され、永平寺町では、バスケットボール（成年男子、少年女子）、ハンドボール（成年男子、少年女子）、ソフトボール（成年女子）の3競技6種別が開催されます。

えい坊くん 今年度の国民体育大会開催事業とは、どのようなことをするのですか？

町長 永平寺町で開催される競技会の円滑な運営が行えるよう、長崎国体と

和歌山国体リハーサル大会の会場視察や長崎国体開催市町の事業概要説明会に参加し、情報収集に努めるとともに、10月には「第73回国民体育大会永平寺町準備委員会」を立ち上げ、本国体開催に向けて、町民の皆さまと協働で開催準備を進めていきたいと考えています。

町民一人ひとりの英知とエネルギーを結集し、大会参加者および観戦者等を「おもてなしの心」でお迎えし、大会の成功と心に残る永平寺町ならではの魅力あふれる大会を目指していきます。

消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター総合整備事業

えい坊くん まず、消防救急デジタル無線ってどのようなものですか？

町長 基地局の消防署と消防車、救急車に搭載されている移動局無線や隊員の携帯無線での情報の連絡、大規模災害が発生し消防の広域応援等が行われる場合に、消防本部間での情報伝達を適切に行うための通信網を消防救急無線といいます。

えい坊くん なぜ、アナログ通信方式からデジタル通信方式に移行しなければ





ばいけないのですか？

町長 今までは、アナログ通信方式という方式を使用して、音声主体の運用でした。

しかし、「電波法関係審査基準の一部改正」により、平成28年5月31日までに、全国の消防救急無線は全てデジタル方式に移行しなければなりません。

デジタル通信方式に移行することによって、クリアな音声通信が出来る、通信の速度が速くなります。今後は、消防車、救急車の位置情報、水利情報、画像情報など、音声以外のデータ伝送にも対応できるようになります。より効果的な消防救急活動を行うために、デジタル通信方式は必要になります。

えい坊くん なるほど、デジタル無線に移行することによって、より一層の安全安心が図られるんですね。それでは、高機能消防指令センターはどのようなものですか？

町長 高機能消防指令センターとは、高度化した最新の情報通信技術を取り入れて、119番通報の受信から出動・帰署まで、迅速かつ的確に対応するためのシステムです。

瞬時に災害現場からの発信情報や、現場へ行く最適なルートが表示されるので、出動までの時間の短縮、現場到着までの時間の短縮が見込まれます。

えい坊くん 今回、消防救急デジタル無線・高機能消防指令センターを一体化して整備する理由はなんですか？

町長 消防救急デジタル無線と高機能消防指令センターを同時に整備することによって、事業費用の節減効果と、デジタル無線機器と指令センター設備の接続機能を切れ目のない効果的な消防救急業務を最大限に発揮できるようなシステムにする事が可能になります。

消防庁舎建設事業

えい坊くん 消防庁舎を新設するねらいは何ですか？

町長 近年の災害は複雑多様化しており、これに対応するため消防、救急業務体制の強化、高度化、専門化、さらには、災害時の初動態勢の強化が求められています。

現体制では消防力が分散し、機能が



発揮できない非効率的な配置となっており、結果的に住民サービスの向上に繋がっていないのが現状です。

この現在の体制を見直し、消防機能の一元化を図り、複雑多様化する災害に対応していきます。

特別職の給料削減

えい坊くん 特別職の給料の減額のねらいは？

町長 平成27年度に合併後10年が経過します。その翌年度、平成28年度からは地方交付税の減少が見込まれています。

永平寺町でも行財政改革を加速化させなければならぬ状況になっていますが、特別職である、町長、副町長、教育長自らの給料を削減することによって財政健全化の先駆けとしたいと考えました。



デジタル無線に移行することによって、より一層の安全安心が図られるんですね

3地区の均衡ある発展とすべての皆さんが等しく様々な行政サービスを受けられる町の実現を目指して、事業を実施して行きます。ここでは、永平寺町総合振興計画の基本目標に沿って、その施策についての事業や取り組みを紹介します。

(は新規事業、は拡充する事業、は継続事業です。)

1. 健康で笑顔に満ちたまちづくりをめざして



あずけて、安心子育て充実事業……………17,747 千円

放課後児童クラブへの入会児童数が増加していることから、子どもたちが安全で安心したクラブ活動ができるよう指導員の増員を図ります。



子育て世帯臨時特例給付金事業……………31,798 千円

4月からの消費税率の引き上げに伴い、子育て世帯の経済的な影響を緩和させるため、臨時的な給付金を支給します。



臨時福祉給付金支給事業

……………37,349 千円

4月からの消費税の引き上げに伴い、低所得者に対する配慮のために臨時福祉給付金を支給します。



認知症検診事業……………538 千円

認知症の疑いがある人に対し、問診を受けることを勧め、認知症の早期発見と介護予防対策を行います。



障害福祉計画策定事業

……………3,960 千円

障害者総合支援法の規定により、障害福祉サービスの提供体制及び自立支援給付等の円滑な実施を確保するための計画を策定します。

2. 健やかに育ち、心豊かな人づくりをめざして



特別支援教育支援員の配置……………36,823 千円

小中学校に在籍する様々な障害を持つ子児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動の支援を行うものです。対象児童生徒の増により特別支援教育支援員を増員します。



学校施設大規模改修計画策定事業……………3,500 千円

町内の小中学校10校の施設を総点検し、改修が必要な個所を洗い出し、計画的かつ効率的な改修計画を策定します。



永平寺中学校トイレ改修工事……………34,574千円

老朽化し、衛生面にも問題がある永平寺中学校トイレの全面改修と身障者用多目的トイレを設置します。



JFA心のプロジェクト「夢の教室」 夢先生派遣事業……………976 千円

日本サッカー協会とタイアップし、目標に向かっていく大切さ、仲間を大切にする心を育てるために、「夢先生（アスリート）」の授業（町内小学校5年生を対象）を行います。



県民文化祭事業……………2,350 千円

福井県民文化祭の一環として、福井県文化協会が選抜芸術祭を開催しており、平成26年度は、永平寺緑の村ふれあいセンターで10月5日に開催します。



松岡河川公園トイレ新築事業……………17,050 千円

松岡河川公園利用者の利便性を向上させるため、管理棟の約250m上流側にトイレを新築します。



松岡庭球場人工芝張替工事……………15,471 千円

松岡庭球場の全4コートのうち、北側半面（2コート分）の人工芝が、長年の使用により傷みが激しいため、人工芝の張替えを行います。



3. 安心して暮らせるまちづくりをめざして



本庁舎耐震補強工事……………180,920 千円

災害活動の防災拠点に指定されている本庁舎の耐震補強工事を行い、防災に強い町づくりを推進します。



防災行政無線整備工事……………40,693 千円

吉野地区10箇所に防災行政無線の再送信子局・屋外拡声子局と戸別受信機58台を整備します。



防災行政無線ホームページ連動改修工事
……………12,099 千円

情報伝達の多様化を図り、安全で安心なまちづくりを推進するため、防災行政無線の内容をホームページでも確認できるようにシステムの改修を行います。



永平寺支所耐震補強工事……………59,509 千円

永平寺町地域防災計画にて防災拠点の一つに指定されている永平寺支所庁舎について、耐震補強工事を行い、防災に強い町づくりを推進します。





防災関連マニュアル作成事業……………4,968 千円

前回のマニュアル作成より6年を経過しており、最新の町防災計画や近年の災害の特徴及び対応基準等を盛り込んだ内容の改訂を行います。



4. 快適で利便性の高いまちづくりをめざして



町道牧福島藤巻線歩道整備工事……………32,240 千円

歩行者等の安全確保を図るため、道路機能を向上させる歩道整備工事を行います。



志比北地区消雪施設修繕工事……………35,800 千円

志比北地区における冬期の道路交通を確保するため、町道鳴鹿栃原線（下浄法寺～上浄法寺）における散水管、取水ポンプ等機械電気設備の消雪施設の修繕工事を行います。



地域コミュニティバス運営委託……………42,241 千円

交通空白地帯の解消を主な目的とし、役場、図書館等の公共施設、老人センター等福祉施設、町内医療機関、商店街等、及び小中学校の登下校に利用するための交通体系を整備します。



松岡吉野地区配水管更新工事……………5,984 千円

中部縦貫自動車道の整備工事に伴い、支障となる配水管を移設する工事です。



左岸1号取水井建設工事

……………31,043 千円

左岸1号取水井は、老朽化により、揚水能力が計画の40%にまで低下しているため、敷地内に新しい取水井を建設し、運転に必要な機器を設置する工事を行います。



情報発信推進事業……………535 千円

いろいろな情報発信ツールを有効活用し、イベントやお知らせ等タイムリーな情報・魅力を発信していきます。また、広報紙、公式ホームページ、フェイスブック、ケーブルテレビ行政CH等の連携、SNSの有効活用、セキュリティ対策等構築と運用についての研究も行います。



永平寺町若者定住促進支援事業補助金…7,055 千円

若者の住宅取得に必要な経費や子育てに係る経費の一部を助成し、永平寺町への定住人口の増加及び地域の活性化を図ります。

5. にぎわいのある活力豊かなまちづくりをめざして



農地・水保全管理支払交付金……………10,512 千円

地域資源の基礎的保全活動などの共同活動を支援する「農地維持支払」と、地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する「資源向上支払」により、農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動を支援します。



園芸産地総合支援事業……………23,362 千円

永平寺町地域振興作物の作付面積拡大を図るため、高齢者でも容易に扱えるピクニックコーン移植機、選別機、タマネギの収穫機の購入費を補助します。また、露地栽培から施設園芸への転換により、1年を通して安定した園芸作物の生産・出荷および農家の所得向上と地産地消を図るため、大型パイプハウスの施設整備に対する補助金を交付します。



農村振興基本計画策定業務……………2,052 千円

農業の生産条件等が不利な中山間地域において、農業・農村の活性化を図ることを目的として、農業生産基盤等の整備を行うため、中山間地域総合整備事業の事業採択要件である農村振興基本計画を策定します。



道の駅（地域振興施設）整備事業

.....18,262 千円

地域の特産や観光資源を活用し、地域活性化と観光交流の拠点づくりを行なうため、道の駅の地域振興施設を整備します。



6. 計画の推進に向けて



公民館嘱託主事設置事業.....2,079 千円



地域活動を活性化させるため、各公民館（松岡・永平寺・上志比）に公民館嘱託主事を置き、公民館活動を積極的に展開します。



新住民票等各種証明書のコンビニ交付

システム環境構築事業.....43,200 千円

住基カードを使って、コンビニエンスストアで住民票等各種証明書の取得ができるシステム環境を構築します。

編集後記

平成26年度永平寺町予算特集号は、「今年度予算の特色、永平寺町が取り組む主な事業をわかりやすく！」を念頭において編集いたしました。聞きなれない言葉や難しい単語は、イメージしやすいようにイラスト、グラフ、写真や説明文を付け加える、言葉自体を言い換えるなど、なるべくわかりやすい表現になるように工夫いたしました。



福井大学
地域科学課程2年生の皆さん

福井大学教育地域科学部
地域科学課程2年生の皆さん

また、今回初めて、国立大学法人福井大学教育地域科学部地域科学課程2年生の皆さんにも編集にご協力をいただき、若い感性を広報に取り入れてみました。

今後も、永平寺町の予算、決算といった財政状況を町民の皆さまにわかりやすくご案内していきたいと考えています。

この予算特集号をお読みになられて、気づかれた点などがありましたら、下記企画財政課までご連絡ください。今後の参考にさせていただきたいと思ひます。

最後までお読みいただきありがとうございました。

企画財政課 kikaku@town.eiheiji.lg.jp
☎ 61-3942



平成26年7月18日発行

永平寺町企画財政課

〒910-1192
福井県吉田郡永平寺町松岡春日1-4
T E L 0776 (61) 3942
F A X 0776 (61) 2434
URL <http://www.town.eiheiji.lg.jp>
E-mail kikaku@town.eiheiji.lg.jp